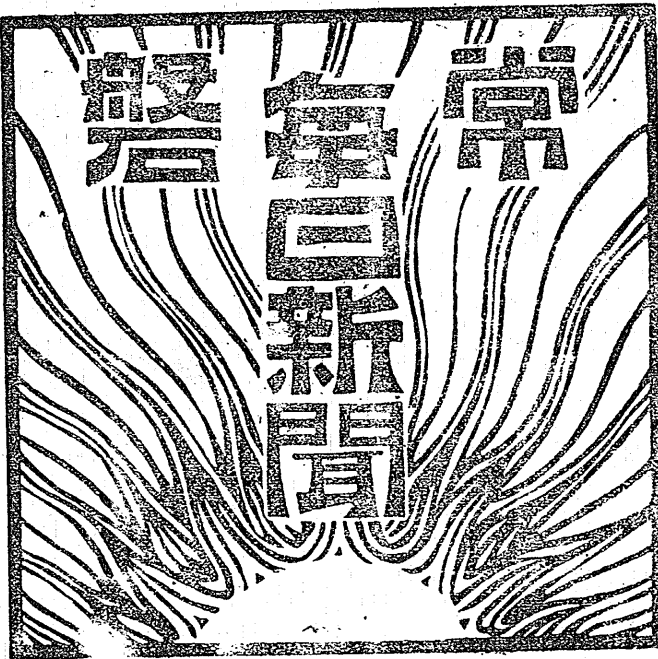


日刊 印刷 發行兼編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊々日四月二十

定部金貳拾五圓 廣告費五圓 印刷費五圓 郵税五圓 電話費五圓 印刷費五圓 郵税五圓 電話費五圓

看護婦派出
の求めに應ず
平町南町
看護婦會
電話三〇七番

會田時計店
平町四(電三三三)

正徳 徳壽
建築設計 関内藥局

肉盤其まゝの高級
ビクターレコード枚「〇〇錢
日本物と音楽
落音器針は
ビク 針先 35歳
一度御試聴下さい

七五三御祝の御用意品

毛糸マント
ラシャオーバー
洋服各種
モヘヤマント
帽子
白毛襟巻
チヨツキ

種々入荷致しました
から御用命を.....

にツルヤ
電話百四十番

吉田眼科醫院
平町紺屋町(電話六八番)

惠比壽講大賣出し
十二月一日ヨリ七日間
御婚禮支度 は是非 三井へ
七五三祝着

常に良品本位、価格低廉、東都多の流行品を豊富に
取揃へてあります、別して御婚禮御支度並に七五三祝
着には特に力を入れました。是非御用命下さい。
一、金五圓以上御買上の方に景品呈上。
一、御贈答品には商品券を。
一、吉凶用御引物反物特に廉價を以てお願ひ致します
一、今秋流行のショール、富士絹友仙階上陳列
一、特價品 正絹絹八十五錢、裏地六十五錢、敷布五十錢
平町三丁目 三井呉服店
電話三八、七五、一五

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

代理店 **西村屋藥舖**
平町二丁目(電三)

磐城セメント株式會社

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平町紺屋町
電話平五〇七番

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
氣管食道科
平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

「オチラ」の御用は
平野前高野自轉車店
ラチオ部へ御用命を

三球式(附屬品一切付)
A 金百十圓也
B 金八十五圓也
C 金七十圓也

一球式(レシパー付)
A 蓄電池 金卅三圓也
B 乾電池 金卅三圓也
C 乾電池 金卅三圓也

ラチオ製作、部分品、取付工事其他
高野自轉車店ラチオ部
仙台放送局指定加入申込取扱所
平野前(電話三三六番)

預金賣買を致します
公債 株式 賣買
勸業債券高價買入
鈴木彌米商店
平町大町

小店員募集
年齢十四五歳位
の者貳名至急雇
入たし
御希望の向は御
來談下さい
平町一丁目
和久井屋
電話四〇五番

内羅専門妙藥
愛馬散
小野屋藥店

久全屋藥店
磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番 一三九番
▽良品廉賣、勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△

科外專
花内外 柳臟科 病外 科科般
安齋外科醫院
診察時間 午前八時より午後九時まで
(但し急患は此の限にあらす)
平町田町大通り電話四三六番

君は、いゝ型の洋服を求めたないか？
いや君コレは例の「ソレ」
正札堂
切斷の苦しみなく、ゆびはれ、やけど、淋病、梅毒、きりきす、乳はれ、くさ、りうまらす、其他化膿するもの一切
靈藥ムテキ
發賣元 **阿康藥店**
縣社下古鍛冶町(電話四四番)
スグキク 風、頭痛、効力本位 一 神、神經痛、丹波博士創製、セキトメ
ラヒト 有偽物、要注意
たんばあめ

正札堂
通車停町平
堂札正

是非合併し度さに 常警側大事を踏む

最初のキリ出しが肝要と
けふも重役が審議

平銀對常警の合併問題は既記の如く内容調査が全く終了したため今後残るは比率の點のみで夫れも

時日の経過を待つばかりであるから互ひに満を持して放たぬ型が目下の状態である、常警側としては此際徒らに踏み付けにした比率を提出したのでは到底成立の見込みのない事が判つて居り、且つ合併交渉

自力に 依る單獨開業の腹も充分に見える處から比率のきり出しに就いては餘程慎重な態度を以つてせねばならぬ處より常警側では本日昨日に引續き各重役が擬首審議を重ねて居る由

千餘株は失効と決め 片倉製糸工事に着手

目下見習中の女工は
高女卒業程度が大半

資本金二百萬圓片倉製糸株式會社では株式の第一回拂込を督促中であつたが銀行の休業が影響して成績が思はしくないので再督促をなしても應じない株式一千餘株を失効せしめ、之を片倉組が持つことに決定した、同會社では株式の整理が一段落ついたので愈々工事に着手することになり取敢ず十五日から工場敷地の月見町に地均し工事を着手することになつたが、来る二十日頃に創立總會を開き重役の選舉、事業方法其他について協議をなす事になつた尚ほ會社では操業に熟練した女工が必要なので石

警城銀行の 整理が進む

一三ヶ月後に
開業が出来る

目下休業整理中の警城銀行の公金町村長ならびに各種団体は二日午後二時より元石城郡會議室に協議會を開き今後の對策を講じたが同會議には特に白井警視事務の出席を請ひ整理内容が金

柿と春菊の
胡麻和へ

材料——(五人前)柿中位のもの三個春菊一は蓮根(小)



家 庭 欄

ミシン器寄 記念に母校へ

石城郡錦村大字大倉中向赤津勇氏は明治四十三年度同小學校卒業者で目下東京淺草區で洋服帽子類の間屋を営み成功者の一人であるが今回御大典記念として母校

一二才の幼児を射殺す 障子に立掛けて置いて

石城郡大浦村字上三枝建築請負業者吉田清太郎(三)は三日午前八時頃鴨獵から帰宅し一彈丸を裝填した儘銃を座敷の障子に立掛けて置いたのを子供等が騒ぐ拍子に倒れ自然に發射して散彈は孫たか子(三)の顔面に命中後頭部を貫いて即死した

漁夫三名 激浪に吞る

石城郡豊間村地内海岸は三日午前一時ごろ俄に大波が押し寄せ、約三十間程離れた所まで漕ぎ寄せたが突然激浪にまき込まれ船體轉覆し大平、鈴木の兩名は辛うじて岸に泳ぎ着いたが藤原のみ一本當りゴマ一杯杯醬油一杯砂糖茶サデー一杯拵へ方——運をむき酢を少々入れた水の中に、四五分間浸します、この酢を入れるのは運のアクを止めるためです、煮立つた湯の中に鹽を少々入れ湯をゆで、その後のお湯で春菊をゆでかたく絞り三四分に切りま

農産物入賞 内郷村品評會

石城郡内郷村農會主催農産物品評會は同日早朝より役場講堂において開催同十一時より褒賞授與式を舉行したが審査長は郡農會神尾菜二百六十點中入賞せるもの次の如し

- (稻)一等高松佐重、高原重吉、小松極太郎、二等原野貞次郎、菊野藤太郎、渡邊喜一郎、菅本忠義、根本保吉、緑川顯司、三等大越惣兵衛、萩定雄、馬目銀市郎、山下喜代治、野木朝喜、佐藤徳之助、大越治助、山崎正、山下竹千代、吉田國作、沼田

各期の農業に留意 麥の二毛作栽培を 郡農會で奨励する

石城郡一帯の各農家では従來冬期間の農業は之を打捨て山に接した農家は製炭に海に接した人々は漁業に海と山の中間にある人々は炭山に 何れも勞働に従事して居る爲め冬期間の氣候順良なるにか、はら

- 良之助、四等馬目青豊、外十三人(蔬菜)一等鈴木興作、野木良之助、吉田安清、高木貞利、四倉まゐ、佐藤徳之助、四倉福壽、半澤多助、鈴木彦彌、二等鈴木繁雄、大平彌惣治、野木春伊、野木信彌

兎の耳

警視廳築地署の山崎刑事が築地の本願寺前で電車に乗ると傍らの男が同刑事のたもとに手を突つ込んで何かやつて居る、素知らぬ顔して横を見て居るとその男たもとの中の捕縄に手が觸れたのでピツクリ、大急ぎで手を引込め圖々しくも「櫻橋はまだでせうか」と聞く同刑事危くふき出す所をこらへて「いやもう直きです」とか何とか調子を合せ、電車が築地二丁目に来るや有無をいはず引すり下して水署へ連行取調べたところ、この

募集

文藝其他投稿を募集します

男は前科五犯新潟縣生れの酒巻虎次郎(三)といひ、先月廿二日甲府刑務所を出獄以來上京して市電や青バス専門に十數件のスリを働いて居たものと判明したが、刑事に當つたのが百年目

川崎本社長の ラヂオ放送

十二日に大阪で
其序は巡回講演

川崎本社社長は来る十二日午後六時より大阪放送局の子供の時間に童話を放送すべく依頼され是れを應じたが演題は貧乏退治にて同局よりの放送は是れが三回目であり是れより先き京都、名古屋、神戸等の各小學校よりも童話演説の求めがある爲め放送の序で巡回講演すべく豫定になつて居る

平町火葬場 室内準備完成

平町が工費六千餘圓を投じて新築中の火葬場は室内の諸設備全くなり検査済み次第專業を開始することとな

本年度 の如きは麥